

牛久：学校周辺に見る自然

第11号 ひたち野西近隣公園（ひたち野うしく小）

2013年7月6日発行

＜ 夏の動物観察 ～みずべ公園 ②ハチやアリの仲間 ＞

ひたち野うしく小3年生と歩いた、夏のみずべ公園。今回はハチやアリのなかまです。



ブタナのみつを吸うセイヨウミツバチ(左上)。
アカツメクサのみつを吸うセイヨウミツバチ(右)。
ヤマハギのみつを吸うトラマルハナバチのメス(左下)。

まずは、花に来ていた^{こんちゅう}昆虫。セイヨウミツバチとトラマルハナバチ、ヒメハナバチのなかまが多く見られました。「ミツバチはつかんだり、巣に近づいたりしなければ^き刺されたりしないよ。」といったのをよく^{おぼ}覚えていて、びくびくしながらも近くでじっと観察できましたね。



ギンギシの葉のうらで、くるっと丸まるハグロハバチの幼虫(上2枚)。この葉を食べる。

上の幼虫^{ようちゅう}の写真は何でしょう？ チョウ？ ガの幼虫？ いも虫みたいな幼虫を見ると、すぐにチョウやガを思い浮かべますが、こちらはハグロハバチという、まっ黒なハチの幼虫です。くるっと丸まって、かわいいですね。

左は2匹のアリですが、種類が^{ちが}違います。大きい方はクロオオアリ、小さい方はクロヤマアリ。体の大きい方が強いと思いがちですが、小さいクロヤマアリが、一方的に^{こうげき}攻撃していました。全然^{はんげき}反撃しませんでした。【理科支援員：宮内】自分よりずっと大きな、クロオオア리를攻撃するクロヤマアリ(左)。

